城陵

－ 第12号 －

発行／岐阜県立恵那高等学校同窓会
所在地／岐阜県恵那市大井町1023-1
〒509-7201
TEL・FAX：0573-25-0253
E-mail：c27331@gifu-net.ed.jp
発行責任者　市川　康夫

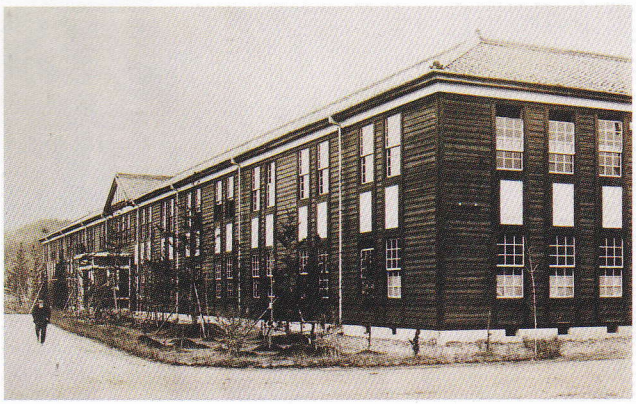
恵那高等学校創立90周年記念事業

11月10日(土) 式典の概要固まる

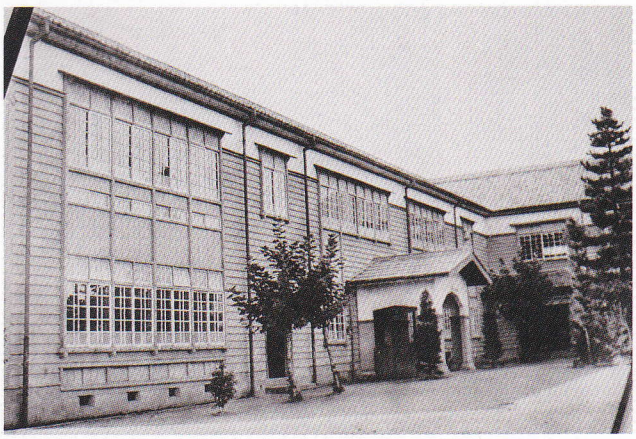
創立記念事業第4回実行委員会（平成23年5月）が行われ、記念事業として、「トレーニングハウス棟（仮称）」の建設が決定しました。また、寄付の口数に対し、進呈する記念品等についても検討されました。また、第5回実行委員会（平成24年1月）では、11月10日（土）に、記念式典が実施されることが確認され、その内容についても検討されました。

また、これまでに、財務委員会は8回の会議を重ね、同窓生への寄付の呼びかけ、企業への広告掲載依頼の働きかけなど、精力的に活動を行っています。各支部でも、寄付の呼びかけを行っていただいております。財務委員会としては、個人、企業広告等合わせて、総額三千五百万円の寄付を目標にしています。まだ寄付をされていない方はぜひ協力をお願いいたします。

当日は、午後からホームカミングデーとし、新校舎の見学会、PTAによるバザーを予定しております。また、記念講演には、名古屋セントラル病院長、中尾昭公氏を講師としてお招きすることが決定しております。また、恵那、中津川をロケ地とした、「青い山脈」の上映等が、企画されております。多くの同窓生の方の参加をお願いいたします。現在決定している、11月10日（土）当日午後のホームカミングデーの日程については、6頁に掲載しております。詳細については今後、式典委員会や懇親会委員会で検討されることになっております。また、恵那高等学校のホームページから、同窓会のページにリンクしております。できるだけ新しい情報を掲載しますので、ぜひご覧ください。



岐阜県恵那中学校



岐阜県恵那高等実科女学校

岐阜県立恵那高等学校（旧校舎）

同窓会報「城陵」協力金について

平成13年より創立80周年記念事業に向けて発行が始まった本紙は、多くの同窓生の方々の協力金（1口2,000円）に支えられ、発行を続けてまいりました。しかし、協力金の寄付者が毎年減少してきており、今回の第12号をもって同窓会報の会計も残り少なく、次回会報の発行が困難な状況です。つきましては、母校と本同窓会発展のため、多くの皆様に協力金を寄せていただきますようお願い申し上げます。

同窓会報協力金振込先

岐阜県立恵那高等学校同窓会
ゆうちょ銀行　口座番号　00850－4－118169
（ゆうちょ銀行から振込をする場合）

新校舎が完成

前事務部長
中村　茂

新校舎外観（体育館側より）

恵那高等学校の新校舎建設がスタートして2年目に入りました。平成22年度から平成24年度までの約3年間の計画で建設工事が進められ、平成22年度は建て替え工事中の仮住まいとなる仮設校舎の建築、新校舎建築予定地となる第2棟の解体工事が行われました。解体跡地に平成23年1月から新校舎建築が始まり、平成24年2月末に完成しました。平成24年度は、建設計画の最終年度として仮設校舎・第1棟校舎の解体、新校舎周りの外構工事が行われ、全ての建設工事は、平成24年12月に終了します。

新校舎生徒昇降口（向こうに職員玄関）

1 新校舎のコンセプト

新校舎は学校の特性を活かして、シンボリックな切妻屋根を校舎正面にデザインし、シンメトリー（左右対称）とすることで、伝統と実績、歴史を誇る恵那高等学校の品格高い校風を表現しています。

また、地域の優秀な人材が集い、新しい時代を創造する人間をはぐくみ、生徒一人一人が母校に誇りを持ち、そして人生における「心のふるさと」となるようにとの願いが込められています。

青々とした笠置山を望む校舎正門の既設針葉樹の並木道は、そのまま残すことにより学校を訪れる卒業生の懐かしい思い出の「記憶の歩廊」とします。

正門から一歩一歩並木道を進むと、目の前に城陵祭（文化祭・体育祭）の交流・活動・憩いの場になる芝生の緑地帯「城陵広場」が広がってきます。

校舎正面からグランドへ向うメイン通路は、花の木の並木道「はなの木ストリート」とし、風薫る緑に囲まれたキャンパス環境からは、生徒の明るい笑い声が聞こえてきます。

2 新校舎の概要

新校舎は、旧校舎の第1棟と第2棟を合体させた厚みのある鉄筋コンクリート3階建てで、建築面積1,868・02㎡、延べ床面積4,530・69㎡の校舎棟と、既存の第3棟を結ぶ中庭側渡り廊下2棟304・08㎡、体育館側渡り廊下11・75㎡で建築されています。

サイエンスホールの吹き抜け（玄関を入った正面）

1階は校長室・職員室・事務室・進路指導室・生徒指導室・保健室などの管理部門が主に配置されています。事務室や進路指導室、生徒指導室は、生徒や来客者に対応できるよう昇降口の正面に配置されています。

2階・3階の北側は、スーパーサイエンスハイスクールを象徴する物理・化学・生物の各実験室、地学講義室、各準備室などが配置されています。南側には生徒の教室が配置され、各階に設置される渡り廊下により、既設の第3棟へスムーズに移動出来るようになっています。

2階北側には生徒の憩いの場として、恵那の自然を感じながら友情を深め青春を謳歌できるようにとテラスが設けられています。

3 省エネルギー対策等

屋上には自然エネルギーを活用した太陽光発電設備が設置され、1日当たり10KWの電気を発電し校内の照明に利用されています。

玄関入り口に設置された太陽光モニターからは、日々の発電電力などが数値で表示され、節電に対する啓発を行っています。

また、トイレにはセンサーによって明るさの調整ができる自動点灯照明器具や節水型の自動水道器具を採用して、省エネ対策が採り入れられています。

校舎の外壁は地元の東濃タイルを多用し、玄関の床・壁・框には恵那御影石を使用するなど地元資源の有効活用が図られています。

4 今後の工事予定

平成24年4月から仮設棟、旧第1棟が解体され、第1棟跡地に来客・職員駐車場及び自転車置場、また外溝工事が実施されます。

また、平成25年度には第3棟の外壁、屋根、トイレなどの改修工事が実施されることになっています。

5 終わりに

現在、岐阜県の財政状況は引き続き厳しい状況にあり、多額の経費を要する県有施設の改築はなかなか進まないのが現状です。その様な中でも、多くの方々のご尽力により本校の新校舎建設が計画どおり順調に進められ、新校舎が完成したことは、本当にありがたいことです。第3代目の新校舎が地域の皆さんから愛され、伝統ある恵那高等学校の新しいシンボルとして機能することを期待しています。

第2校舎への通路（中庭の丸池を囲む）

陵城論壇

創立九十周年、母校の更なる発展を

同窓会会長　市川康夫

今から数十年ほど前、私が東京での生活を送っていた時のことでした。ラジオの深夜番組を聴いていた私の耳に、ザ・ランチャーズの曲「真冬の帰り道」が流れてきました。「あなたの肩さきにひらひらこぼれてる、プラタナスの枯れ葉、寒そな枯れ葉」で始まるその歌を聞いたとき、どういうわけか、城陵祭の準備で遅くなり、恵那高の正門前の坂道を夜帰っていたときの様子が、甘酸っぱい思いとともに、私の脳裏によみがえりました。皆様の多くも、折にふれて学生時代を思い出され、このような感慨をお持ちになることもあろうかと存じます。

恵那高等学校同窓会は、この城ケ丘での青春の一頁を時を超えて共有し、会員の皆様方の親睦はもとより、母校の更なる発展への協力を目的とする団体であります。同窓会会員の皆様には、日頃より物心両面にわたりまして暖かいご支援、ご協力を頂戴し、心より御礼申しあげます。

その母校は、本年創立九十周年を迎えます。この機会に同窓会の絆を一層強いものとすべく、九十周年記念事業実行委員会を立ち上げ、現在準備を着々と進めているところであります。本年十一月十日には、午前中に学校主催の記念式典が挙行されるとともに、その後、午後にかけては、同窓会主催の「ホームカミングデー」として、新しく完成した校舎、そしてそこでの生徒の活動の様子、校舎周辺の様子等を見学していただき、往時を偲んでいただくとともに、これからますます発展して行かんとする新しい恵那高等学校を見ていただければと存じます。私ども心からの「お帰りなさい」の言葉とともに皆様方を歓迎申し上げます。

当日は、中尾昭公氏（高十八回）にご講演いただくとともに、旧校舎が映っている映画「青い山脈」の一部上映も企画しております。また、夕方から夜にかけては、場所を移して懇親会を開催いたします。どうか多数のご参加をお待ち申し上げております。

本年二月には、二〇一一年度において全国大会・県大会等で顕著な成績を残した九つの個人・団体を学校で選定いただき、同窓会として表彰いたしました。これらの方々をはじめとして、わが母校の生徒は、文化面・運動面の部活動においてたいへん優れた成績を挙げています。

創立九十周年の主たる記念事業としましては、その運動部のための施設として、「トレーニングハウス棟（仮称）」の設置をご提案申し上げ、昨年の七月より募金活動に入らせていただきました。多くの同窓会員の方々から多額のご寄付を頂戴し、心から感謝申し上げる次第でございます。しかしながら、本稿執筆時での全体の募金は、まだ道半ばという状況でございます。同封させていただきましたご案内のとおり、より多くの皆様方のご厚志を賜ることが出来れば大変有難く存じます。

今後とも、母校の更なる発展と、同窓会の絆が一層深まっていくために、微力ではございますが頑張って参る所存でございますので、何卒一層のご指導ご鞭撻をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

創立九十周年を迎えて

恵那高等学校長　成瀬正樹

初夏の候　同窓生の皆様方には益々ご健勝でご活躍のことと拝察いたします。日頃から本校の教育活動にご支援を賜り、学校を代表して厚くお礼申し上げます。恵那高等学校は今年九十年という大きな記念となる年を迎えました。

現在市川康夫同窓会会長を中心として、創立九十周年記念事業実行委員会を組織し準備が進められています。主な事業としては、生徒が部活動に使用できるトレーニングハウス棟（仮称）の建設、同窓会名簿、記念誌、記念DVDの発行、また十一月十日（土）には、全同窓生の皆さんや来賓をお招きし、記念行事を開催したいと考えております。学校主催の記念式典、同窓会主催の記念講演会、映画「青い山脈」の上映、PTAバザー、懇親会などが計画されています。全国から集まる多くの同窓生を、全校挙げて「ホームカミング」の気持ちで歓迎します。特に第三代目となる新校舎が、外観は初代木造校舎の寄せ棟をイメージし設計され、岐阜県が十二億円をかけて約二年の工期で平成二十四年二月に完成しました。3階RC建てで校舎二棟分の大きさで、広い正面玄関を入ると理数教育を象徴するサイエンスホールと呼ぶ吹き抜けがあります。全教室と管理室には冷暖房を完備し、また壁面には木材をふんだんに使用し、快適で機能的な教育学習施設が完成しました。当日は各支部や各学年などで使用できる会場も準備しています。是非ご来校いただきご覧ください。

本年は第六十七回国民体育大会「ぎふ清流国体」が四十七年ぶりに岐阜県で開催されています。すでに一月二十八日から二月十七日まで冬季大会スキースケート競技が開催され、岐阜県は天皇杯、皇后杯とも第三位とさい先良いスタートを切りました。そして秋季大会が九月二十九日に開幕します。～輝け、はばたけ、誰もが主役～のテーマの通り、本校職員生徒は、選手、大会役員、大会補助員、またサポーターとして参加し、また大会期間中の一部を学校休業日とし大会を支えます。恵那市ではスケート競技に加え弓道競技が、中津川市ではレスリング競技が開催されます。全国からの応援よろしくお願いします。

平成十六年から始まったスーパーサイエンスハイスクール事業は、九年目となる第三期目五年間が、新たに文部科学省から指定され、来年度の海外研修を目指しこの四月に開始しました。「日本数学コンクール」での最高賞である「大賞」受賞など、今までの大きな成果を元に全校体制で実施します。理数教育に加え国際教育を充実させ、社会に貢献できる「真の国際性」を培うことが大きな目的です。

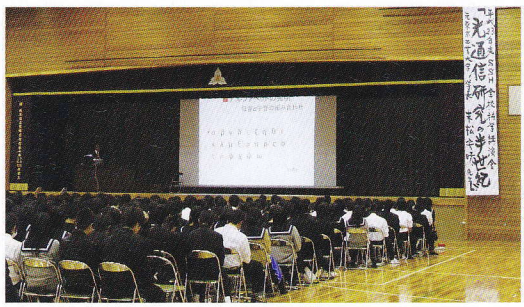
最後に、平成二十三年の世相を表す漢字は『絆』でした。東日本大震災が起き、家族・全国・全世界の人と人との結びつきの大切さを改めて実感した年でした。平成二十四年は本校にとってどんな年となるでしょうか。本校の同窓生は在校生を合わせて二万五千人を超えます。同窓生としての『絆』、クラス、学年、全校職員生徒の『絆』をさらに深めていく必要があると思います。松戸市に在住する旧制中学二十回生内海安博さんは、世界平和と地球上から戦争が無くなることを願い、この十年間「同窓生戦没者一覧」の作成に取り組まれました。太平洋戦争の沖縄戦や硫黄島などで亡くなられた二百人を超える貴い同窓生と職員の記録は記念誌に掲載し継承していきます。本校には、岐阜県恵那中学校と岐阜県恵那高等実科女学校から、現在の岐阜県立恵那高等学校へと九十年にわたり脈々と受け継がれている歴史と伝統があります。この記念事業を契機として、恵那に育ち学んだ同窓生の方たちの『知』を全国全世界に発信していただければ幸いです。また本校の役割は次世代を担う後輩たちを立派に育てていくことであると考えています。引き続きご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いします。

2年生、沖縄に学ぶ
修学旅行（6月）

本校の2年生が、昨年平成23年6月28日から7月1日まで、3泊4日の日程で沖縄に修学旅行に行きました。初日は「平和学習」をテーマに平和祈念資料館、ひめゆり資料館、糸数壕を見学しました。2日目は、「一人一人の知的好奇心を高める」をテーマに、タクシーを利用したグループ研修を行いました。ここでの研修は、総合学習で調査してきたことを、現地で検証するものです。3日目はクラスごとの体験学習を行い、4日目は「沖縄の歴史と文化を学ぶ」をテーマに美ら海水族館、首里城を見学しました。生徒にとって大変有意義で、思い出に残る修学旅行となりました。

「人間力」とは
SSH全校科学講演（10月）

「光通信研究の半世紀」という演題で、末松安晴（栄誉教授）先生が長年にわたり研究された「光レーザ開発」の話を中心に講演されました。大学の助手になったときに光通信研究を始め、そこで動的単一モードレーザーという考えを着想し、実現化して現在使われている超高速、長距離光通信の実現に貢献したこと、最後に社会で生きるための「人間力」について話されました。



その「人間力」とは、「自分で考える」、「志をもつ」、「責任を自分でもつ」、「柔らかい頭をもつ」、「自分が世界の中で生きている事を認識する」、「経済感覚をもつ」、「社会に貢献するんだという心をもつ」の七つからできており、これから勉強する上でこの「人間力」を身に付けていってほしいと締めくくられました。

MALTA SPECIAL LIVE
芸術鑑賞会（10月）

毎年、恵那市文化センターにて、芸術鑑賞会が行われています。平成23年度はMALTA SPECIAL LIVE（マルタ・スペシャル・ライブ）を鑑賞しました。

ジャズを始め、フュージョン、ロック、ラテン、ポップス等々あらゆるジャンルが巧みに飛び交う、優しくも激しいMALTA氏だけのオリジナルライブが魅力的でした。自然に体がスウィングし、聴きやすく滑らかなトーンで演奏するMALTA氏のサックスは、まさに歌うサックス。数々のオリジナルヒット曲を中心に、誰もが一度は聴いたことのあるジャズ、ポップスのスタンダードナンバー、映画音楽を入れ、年齢問わず楽しめるプログラムでした。

先輩たちに学ぶ
職業講話（11月）

1年生対象に職業講話が行われました。スポーツインストラクター、医師、薬剤師、保育士、建築士、弁護士など16講座18名の講師が恵那高校を訪問し、自分の職業について、どうしてその仕事を選んだか、どんな時にやりがいを感じるか、これから高校生としてやっておくべきことは、などについて語っていただきました。生徒は1人2講座を選択し、話を聞きました。講師の方々は、本校卒業生や、地元の方が多く、熱心に話をしてくださいました。生徒も、いろいろな職業に興味を持つことができ、とても意義深い行事になりました。後に、生徒の感想を講師の先生にお送りしたところ、お礼の返事をいただき、来年もぜひ参加したいと、言われる講師の方もみえて、とてもありがたいことだと感じました。

受験本番
大学入試センター試験（1月）

昨年度は234名の恵那高生が中京学院大学にてセンター試験を受験しました。当日は大変寒い朝となり、恵那高校の用意した机も凍りついていました。今年も、バスで到着した生徒達は、同窓会から送られたキットカット（きっと勝つぞ）、コアラのマーチ（コアラは寝ていても木から落ちない）、トッポ（突破の意味）などのお菓子を、教員から激励の言葉とともに受け取り、同窓会から寄付された「頑張れ恵那高生」の垂れ幕の下を通って各会場に向かいました。

卒業生の大学等合格先（平成21年度～23年度）

※現役生合格者と過年度生合格者の合計数。（　）内は過年度生合格者の内訳数

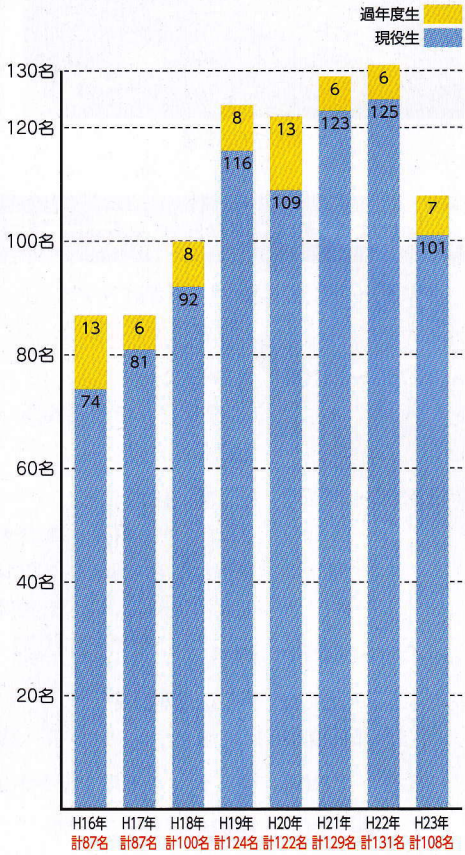
国立大学

大学名＼年度	平成23	平成22	平成21
北海道教育		1	
北見工業	1	1	
岩手	1	1	
東北	1		1
茨城		2	1
筑波		5(1)	
埼玉	2	1	
千葉	1		2
東京農工		1	
東京学芸		1	
東京海洋		1	1
一橋		1(1)	
横浜国立	2(2)	3	2
新潟	1	3	1
富山	1	8	5
金沢	4	4	7
福井	2	1	3
山梨	1	1(1)	1
信州	2(1)	9	9(1)
静岡	11	8	10(1)
浜松医		1	2
豊橋技術科学	1		
愛知教育	5	4	1
名古屋	11	14	14(1)
名古屋工業	6(1)	5	4
岐阜	12(1)	12(1)	14
三重	3	1	1
滋賀	1		
京都			1
京都教育		1	2
大阪	2	1	2
奈良女子		1	1
大阪教育	1		
兵庫教育	1(1)		
和歌山			1
鳥取			1
島根	2		3
広島	1	1	
高知	1		1
香川	2		
愛媛			1
九州	1		
宮崎	1		
大分		1	
鹿屋体育			1

公立大学

大学名＼年度	平成23	平成22	平成21
青森県立保健	1		
会津		1(1)	
前橋工科	2		
高崎経済		1	1
首都大学東京	2(1)	2(1)	2(1)
横浜市立		1	
神奈川県立保健衛生			2(1)
埼玉県立			1
新潟県立		3	
金沢市立美術工芸			1
富山県立			2
福井県立	1	3	
都留文科		2	2
群馬県立女子		1	
山梨県立		3	
岐阜県立看護	3	1	3
岐阜薬科		1	2
静岡県立	3	1	1
静岡文化芸術	3	2	1
愛知県立	2	5	5
愛知県立芸術	1		
名古屋市立	4	3	2
三重県立看護			3
滋賀県立		1	
京都府立		1	
京都市立芸術			1
大阪府立	1	1	1(1)
和歌山県立医科			1
神戸市外国語		1	1
兵庫県立		1	1
岡山県立		1	
新見公立	1		
福山市立		1	
高知工科			2
高知県立	1		
島根県立	2		
福岡女子			1

国公立大学合格者推移（過去8年間）



大学校

大学名＼年度	平成23	平成22	平成21
水産大学校	1		
防衛大学校		1	1

私立大学

大学名＼年度	平成23	平成22	平成21
酪農学園		1(1)	
早稲田	2(1)	8(1)	1
慶應義塾		4	1
明治学院		2	
明治	8(1)	5(1)	7
青山学院	3(1)	1	2
立教		1	
中央	4		1
法政	6(1)		6
文教	2		
駒澤	5	1	7(4)
文京学院	1		
成蹊	2		2
専修	2	2	1
東京理科	3(2)	1	3(1)
東京農業	1	4	2(1)
東海	2	1	1
日本	2(1)	4(1)	5(1)
日本体育		1	
東京電機			1
東京家政			1
東京工科		1(1)	2
獨協	1		
獨協医科		1(1)	
国士舘	1		2
国立音楽			1
創価			5
北里	2		2
川崎医科		1(1)	
帝京	1	1(1)	
帝京平成		1	
神奈川	3		5(3)
神奈川工科	2		
芝浦工業			1
流通経済			1
武蔵野美術	1	1(1)	2
多摩美術	2		2
国際武道			1
東京造形		1	
国際基督教	1		
麻布	1		

私立大学

大学名＼年度	平成23	平成22	平成21
愛知	17	6	6(1)
愛知医科	1	3	4
愛知学院	3	9	5
愛知学泉		1	
愛知東邦			1
愛知工業	8(3)	7(1)	7
愛知淑徳	11	10	14
愛知工科		5(2)	
南山	34	23(1)	22(3)
中京	9	16	14
中京学院	5	3	
中部	40(3)	24	27
中部学院		2	1
名城	43(3)	41(1)	35(2)
名古屋外国語		10	7
名古屋学院	8	2	2
名古屋学芸	5	5	9
名古屋経済	1		
名古屋芸術	1	1	1
名古屋女子	11	5	6
名古屋商科	2	1	4
名古屋造形芸術	1		
同朋	5		
常葉学園	1		3
東海学院	1		
東海学園	3	2	
椙山女学園	4	4	4
皇學館	1		
星城			1
桜花学園		1	1
金城学院	7	8	9
豊田工業	1		
大同（旧　大同工業）	2	5	2
岐阜医療科学	1	2(1)	1
岐阜聖徳学園	8	7	5
岐阜女子	1	1	
四日市看護医療			1
金沢工業	5(1)	5(2)	6
日本福祉	6	1	1
鈴鹿医療科学	1		
福井工業	2		
藤田保健衛生	7(1)	7(1)	8

私立大学

大学名＼年度	平成23	平成22	平成21
同志社		4(2)	2(1)
同志社女子	1		1
立命館	23	15	16(1)
関西学院	2		
関西	1	1	5
関西外国語	1	3	
花園			1
京都嵯峨芸術	1		
京都外国語	3	3	1
京都学園			1
京都橘	1		
京都産業	3		
京都女子	4	2	2
龍谷	3(1)	1(1)	1
京都精華	1		
成安造形	1		
近畿	7(2)	5	3
佛教	2(1)	1	
大阪芸術		1	
摂南	1		
神戸女学院			1
神戸常磐			2
大阪大谷			1
岡山理科	3	1	1(1)
千葉工業		1	
鳥取環境	1	1(1)	
福岡		1(1)	
久留米		1	
福山	2		
西南学院			3
東北公益文科		1	2
大谷			1
高千穂	1		
長浜バイオ	1		1
昭和女子			1

ホームカミングデーにようこそ

すべての同窓生を母校にお迎えします

来る11月10日（土）は、恵那高等学校創立90周年記念事業として、午前中の学校主催の記念式典に続き、下記のとおり同窓会主催のホームカミングデーを開催します。

歓迎セレモニーに続き、名古屋セントラル病院長　中尾昭公氏（高18回）の講演、旧木造校舎が舞台となった映画「青い山脈」の上映を予定しております。新築された校舎の見学や、恵那高校PTAによるバザーもお楽しみいただけます。皆様お誘いの上、ご来場ください。また、17時より恵那峡グランドホテルに会場を移し懇親会が開催されます。

なお、当日は、各支部、各学年等で教室を使用することができます。お申し込みいただければ会場を準備します。是非ご利用ください。

ホームカミングデーへの参加をご希望の方は、恵那高等学校同窓会HPから申込様式を入手するか、任意の様式にて必要事項を明記し、恵那高等学校同窓会事務局宛（FAX0573－25－0253）に送信してください。各支部にてとりまとめて申し込みいただいても結構です。懇親会以外は当日の受付もしております。多数の参加をお待ちしております。記入する事項は以下のとおりです。

新校舎完成図

①氏　名（回生）
②住　所
③連絡先（自宅・携帯電話番号等）
④参加の内容（以下のいずれかを明記してください）
・全日程参加
・記念講演会および映画「青い山脈」鑑賞のみ参加
・懇親会のみ参加
※懇親会は参加費（一万円）が必要です。
⑤教室の利用希望およびグループの参加予定人数（希望する場合のみ）

同窓会主催ホームカミングデー日程（予定）

10:30～12:30	**受付**（恵那高等学校） 新校舎見学、昼食等
12:30～13:00	**セレモニー** （会長挨拶、学校長挨拶、歴代同窓会長紹介）
13:00～14:30	**記念講演会** （講師：中尾昭公（なかおあきまさ）氏 高18回　名古屋セントラル病院長 前名古屋大学医学部第二外科教授）
14:30～14:50	**休憩**
14:50～15:20	**青い山脈上映** （恵那高校から恵那峡グランドホテルへ移動）
16:00～17:00	**受　付**（恵那峡グランドホテル）
17:00～19:00	**懇親会**（会費１万円）

恵那高等学校内同窓会事務局　TEL/FAX <0573>25-0253

高22回生が幹事で盛大に

－平成24年度同窓会総会開かれる－

標記の総会が、5月12日16時30分より恵那峡グランドホテルを会場に、会員82名の出席にて開催されました。市川会長、成瀬学校長による挨拶、水野瑞浪市長（高24回）による支部長代表挨拶の後、23年度事業ならびに決算報告、役員改選、24年度事業案ならびに予算案の承認が行われました。

総会に続き、同ホテルを会場に18時より高22回生が幹事を務める懇親会が開催されました。可知恵那市長（高7回）の挨拶に続き、安岐太鼓のアトラクション演奏が催されました。会の終盤には、市川会長による創立90周年記念事業成功に向けた決意表明がなされ、その後、校歌、大会の歌（城陵歌）の合唱、感動の中、会は終了しました。

平成23年度 Student of the Year賞
生徒8名と1団体が輝く！

平成23年度に本校に在学する生徒の中で、最も顕著な活躍が認められた生徒を表彰する、「Student of the Year賞」の表彰式が、平成24年2月29日（水）14時から、恵那高校第一体育館で、全校生徒・職員の前で行われた。

この表彰は、平成19年度から同窓会が行っている事業の一つで、表彰式には市川康夫会長の出席を得て、会長から表彰状・時計付きクリスタル楯が、それぞれの生徒に手渡された。

表彰された生徒は、次の通りであった。

舘林優太（3年生）君は、第66回国民体育大会（山口県）ボート競技少年男子舵手つきクォドルプルに、岐阜県選抜の一員として出場して、第5位に入賞した。

舘林君は、岐阜県高校総体優勝・東海高校総体第3位・全国高校総体岩手大会出場など、実力のある選手である。国民体育大会には、他校の選手とともに強化練習会に参加して臨み、その力をいかんなく発揮した。

二林佳奈子（3年生）さんは、平成23年度岐阜県高等学校総合体育大会ボート競技女子シングルスカルに出場して優勝した。その後に開催された、全国高校総体岩手大会にも出場した。

二林さんは、その他東海高校総体第5位・国民体育大会東海ブロック予選第3位などの成果を残し、昨年度に引き続いての受賞となった。

林　惇（すなお）（2年生）君は、平成23年度岐阜県高等学校総合体育大会ボート競技男子ダブルスカルに出場して優勝した。

林君は、その後岐阜県高校新人大会に優勝し、中部高校選抜大会では第5位となり、全国高校選抜大会に出場が決まっている。

西尾文吾（2年生）君は、第14回東海高等学校新人選手権大会陸上競技1500mに出場して優勝した。

西尾君は、今年度岐阜県高校総体1500m優勝・同800m第2位、岐阜県高校新人大会1500m優勝・同800m第2位、東海高校新人大会800m第2位など、実力派の中距離選手として頭角を現してきている。

畠本ももこ（2年生）さんは、平成23年度岐阜県高等学校総合体育大会陸上競技女子走り高跳びに出場して優勝した。

畠本さんは、その後に開催された岐阜県高校新人大会でも優勝した。自分の身長よりも高いバーをクリアーする、天性のバネを持つジャンパーである。

軟式野球部は、第26回東海高等学校軟式野球秋季大会に出場して悲願の優勝を成し遂げた。

軟式野球部は、今年度岐阜県高校総体・全国高校選手権東海大会・岐阜県高校新人大会など、いずれの大会においても準優勝と苦杯をなめ続けた。その後の秋季大会で優勝を成し遂げ、今回の受賞となった。

木村裕也（2年生）君は、平成23年度岐阜県高等学校総合体育大会スケート競技1500mに出場して優勝した。

本校にはスケート部はないが、木村君は平成24年1月に本県で開催された、第67回ぎふ清流国民体育大会冬季大会（於・恵那スケート場）に、岐阜県選手団の一員として出場した。

寺嶋　彩（3年生）さんは、第58回NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門に出場して、岐阜県初となる決勝進出を果たし、優良賞（第5位相当）を受賞した。

寺嶋さんは、また岐阜県高校放送コンテストアナウンス部門にも出場し優勝した。この賞を受けるのは、昨年度に引き続いてのことである。

西尾優汰（3年生）君は、第22回日本数学コンクール（主催・名古屋大学・後援・中日新聞社など）に出場して、最高賞となる「大賞」を受賞した。

このコンクールには、高校生対象の数学コンクールと中学生以下のジュニア数学コンクールに計189名が参加した。

西尾君は、今回で二度目の挑戦であったが、数学の約分の問題は、途中で計算に行き詰まりながらも、持ち前の根気強さで解答を導き出し、見事に最高の栄誉に輝いた。

各支部各回同窓会あれこれ ①

恵那城陵会総会

平成24年2月11日（土）16時から、「恵那峡グランドホテル」において、「平成23年度恵那城陵会総会」が開催された。

提案のあった議事は、滞りなく承認された。その後、市川康夫同窓会長（高19回）の講話があり、引き続いてアトラクションとして、川鰭（かわばた）祐子さんのジャズのスタンダードナンバーの独唱が披露された。

当番幹事・高32回生が会を運営し、110名を超える大懇親会は、水野正敏県議会議員（高29回）の乾杯の音頭で始まり盛大な会となった。

会の終わりは、恒例の「大会の歌（城陵歌）」を全員で熱唱して閉会した。

土岐市城陵会総会

平成23年6月12日（日）17時から、土岐市「竜庵」において、「第19回土岐市城陵会総会」が開催された。平成22年度の会務報告・会計報告の後、今年度の役員及び理事が選出された。三宅重幸会長（高10回）から会員の前で紹介があり、拍手で承認された。

その後引き続いて、『東濃の自然文化』と題して、グリーンアドバイザー吉澤守氏（高19回）の講話が行われた。

地元の植物「シデコブシ」や「ナンジャモンジャ」に

各支部各回同窓会あれこれ ②

ついてのお話を通して、この地域がいかに自然が豊富であり、それをどう継承していくのかという興味深い内容であった。

恒例の懇親会は、46名の参加があり、互いに懇親を深め、和やかな雰囲気のうちに閉会した。

東京城陵会総会

平成23年6月7日（火）12時から、今年から場所を変えて、「ホテルグランパシフィックLE DAIBA」において「第14回東京城陵祭」が開催された。

高井幸広会長（高10回）のもとに、旧制中学第11回生～高校第25回生までの同窓生83名を迎えて、懇親会が盛大に執り行われた。

東京城陵会は、同窓会支部の活性化のために、銀座の「ライオン」で毎月定例会を持って、会員相互の継続的な懇親を深める機会を設けている。各支部にもそうした活性化策が必要である。

中津川恵那高会（恵蘇会）総会

平成23年11月19日（土）17時30分から、中津川駅前「勝宗」において「第59回中津川恵那高会（恵蘇会）総会」が開催された。

勝野勅彦会長（高17回）の挨拶の後、会計報告などが行われた。その後引き続いて懇親会が持たれ、約30名の参加者が、和やかに歓談をしながら、楽しい一時を過ごして閉幕となった。

名古屋恵那高会総会

平成23年11月26日（土）12時から、「名鉄ニューグランドホテル」において「第56回名古屋恵那高会総会」が開催された。

榊原章夫会長（高11回）の挨拶の後、会計報告・監査報告が承認されて、総会の議事は終了した。

その後、「科学の細道」という演題で、名古屋大学名誉教授理学博士　堀川直顕先生（高10回）の講演が行われた。

引き続き懇親会が開かれたが、今年は名古屋恵那高会の活性化策（講演会を実施・土曜日の昼間に開催・世話人を若い同窓生から増員・恩師を招待するなど）が実り、昨年度の倍の104名の出席があり、大変な盛り上がりであった。

瑞浪恵窓会総会

平成24年3月18日（日）18時から、「地域交流センター・ときわ」において、「瑞浪恵窓会総会」が開催された。

会長の瑞浪市長水野光二氏（高24回）を中心に、総会の議事が協議され、また創立90周年に向けて協力体制を結束することなどが確認された。

総会後は、食事をとりながらの65名に及ぶ同窓生の大懇親会が持たれ、和やかな内に閉幕となった。

高22回生還暦同窓会

平成23年11月12日（土）「恵那峡グランドホテル」において、今年度還暦を迎えた高22回生が学年同窓会を開催した。

会は鈴木孝尚氏の挨拶で始まり、久しぶりの再会となった同窓生が、旧交を温める良い機会となった。

会には同窓生約60名が集い、今年度をもって定年を迎える節目の年の再会に、話題は尽きることなく進んだが、最後の締めとして五嶋義久氏の挨拶で会は盛会のうちにお開きとなった。

高22回同級会還暦記念ホノルルマラソン完走

平成23年12月11日、高22回生同級会がJALホノルルマラソンに参加し、4人が42・195kmを、3人が10kmを完走した。平成24年4月には、恵那峡ハーフマラソンに参加し完走。また、来る6月下旬、東京皇居一周マラソン参加を計画中である。

（小島泰道）

恵漕会（ボート部同窓会）創部50周年式典と祝賀会

平成24年1月2日（月）正午より、「恵那峡グランドホテル」にて、ボート部の創部50周年を祝う式典と祝賀会が開催された。

当日は、四百余名のOB・OGのうち約115名が集まり、年代ごとに分かれて着席。式典は恵漕会会長の阿部伸一郎さん（昭和49年卒・現セントラル建設（株）社長）の挨拶にはじまり、大先輩の鈴木正昭さん（昭和39年度インターハイフィックス優勝・現岐阜大学教授）や林俊彦さん（昭和44年度インターハイ男子ナックルフォア準優勝・現県高体連会長）の祝辞、中堅の水谷達也さん（1986年度世界ジュニア選手権日本代表・現早稲田大学ボート部ヘッドコーチ）の激励の言葉、現役部員のステージ上での決意表明と続いた。

その後、初代OBの田中完治さんの音頭で乾杯し祝賀会にうつった。アトラクションとして50年間の現役部員の写真がスライドショーで映された。2時間弱の祝賀会は、お披露目された新しい部旗にあわせて母校の校歌、応援歌を高唱してお開きとなった。

※この紙面では、同窓会の各支部や学年同窓会の様子などを掲載しています。

今年度開催予定の同窓会がありましたら、原稿と写真などを、恵那高等学校内同窓会事務局（〒509-7201・恵那市大井町1023番地の1）までお送りください。